
上海コネクション2009

きりもんじ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

上海コネクション2009

【Nコード】

N0211L

【作者名】

きりもんじ

【あらすじ】

2009年夏冬ど短期の買い付け旅行に、義烏へ行きました、その旅日記です。

”油断大敵”が今年のテーマになりました。

メキシカン？

2009.9.1

今回は1週間の買い付けだけだから、
小さなリュック1つだけである。

いつもどおりに船は出た。

夜、自販機のラーメンを食べていたら、
ラテン系の若い娘がラーメンを食べようとしている。
ここのカップラーメンは、

1、220円きっかりでないと出ない。

1、お湯はマトモに出ない。

1、箸はフロントまで取りに行く。

丁寧に教えたら愛想良く話し込んでしまった。

彼女はメキシコ政府お墨付きのNPOアクアカルチャーの
メンバーで中国名愛麗星さん。名刺をもらった。

GOVERNMENT OF MEXICO 水産部と書いてある。
れっきとした政府の人だ。けれども、

英語も中国語も非常に分かりにくく、どうも杭州の
西湖を調べに行くところらしい。
話し疲れてしまった。

ちよつとそいまで

20090902〜3

冷房がよく効いていて船内は寒いくらいだ。
ガンジー
剛治と言うおじいさんがいた。

毎年ウズベキスタンやキルギスを旅していると言う。
名刺には”ちよつとそいまで一杯やりに”と書いてあった。
相当なのんべえだ。やはり寝言といびきがすごかった。

潮の関係で6時間遅れるらしい。展望室でじつと海を眺める。
中国大陸に近づくと、次第にその一部が泥色に濁ってくる。

濁りはどんどん広がってついには全面が泥色になる。
長江が大陸の泥を運んでくるのだ。

午後3時に上陸。南站からバスに乗ると
若い黒人のビジネスマンが二人乗ってきた。
美人のキルギス娘もいて国際色豊かなバスだった。

油断

20090904

手紙はちゃんと届いていた。にもかかわらず、

「準備するから1時間待ってくれ」

ここは中国、苛付いてはいけない。

ずしりと重い20kgを背負って上海へ戻る。

交通渋滞でもう3時間は経っている。

今回はリュックを底扉に預けた。南站手前で停車、
数人が下りた。白人の男がはっと気付いたように

しばらくして下りて戻ってきた。あ、そうか？

荷物を持っていられないように確認していたのだ。

しまった。バスは動き出した。もう確認の様がない。
次ぎ止るまではどうしようもない。

油断大敵だ！もし荷物がなくなっていたらどうしよう？
不安がつのってくる。その時はまず届けを出して、

日本に連絡をして、残りのお金で買えるだけ買って、
次の便で帰るしかないな。ああ、やっぱり命より大切な

仕入れは手元から絶対に離してはいけない、これ鉄則。
バスは渋滞の中4時間を越えて走り続ける。

やっと着いた。そこは上海火車站。あれっ、さっきが
南站だったのだ。荷物は？あつた、ああよかった！

毎日きちつと心構えをして当たらなければ
ちよつとした油断が命とりになるぞ！！

藍山ユース

20090905

魯班路の藍山青年旅舎ユースに泊まる。
ブルーマウンテン

周君という片言の日本語を話す青年がいて、愛想はよかったが、予約が要るほどこの時期は込んでいるそうだ。

このユースはいきなり急な階段で引けてしまうが、外壁は工事中。それでも西洋人で一杯だった。どうもしっくりしないと思っていたら、

退房時にシーツとマットと枕カバーを抱えてくること、

ここはもうやめよう、白蘭路が一番いい。

さて、時間は十分あったのに地下鉄の出口を間違えて、楊樹浦路に出るのを平涼路に出た。ずいぶん歩いて、

電視塔がどうも後ろにあるのでおかしいとやっと気付いて、大急ぎで引き返した。油断大敵！

ここ数年のスローガンは、

『油断大敵』だ！！！！。

2009年冬

20091218から19

夏に引き続きとんぼ返りの義烏行きだ。

帰ると翌日が娘の結婚式だ。

何があっても無事帰らなければ。

蘇州号、出航してすぐに展望風呂に入り

デッキの洗濯室で洗濯をする。

新鑑真号は室内だが蘇州号は外なので

風が強くてとても寒い、危険だ。

扉を開けると卓球をしていた親子ににらまれた。

ベテランの老人が始めての若者にアドバイスをしている。

こちらでは二人のおじさんが大量の商品を
運ぼうとしているみたいだ。

個人旅行の若者はチベットへ行くらしい。

なんと自転車で！無謀というか若いというか。

出稼ぎ娘の団体がいつものようにたくさんいた。

荒天で船はゆれに揺れ続けた。

まる一日展望室でうとうとしながらゆれ続けていた。

ついてない？

20091220

定時に船は上海に着いた。夏は6時間も遅れたのに。新しい乗り場が完成して、より南京路に近くなった。

義烏まで96元。3時間半、5時過ぎに到着。

ところが少し様子が変わった。福田？期が暗い。

電気がついてないのだ。日曜だからか？

明日来るしかないな。バタンコで三元里賓館に向かった。小銭がない。おおもめにもめて20元札をもぎ取られた。油断大敵！明日は全て歩きで闘争。

1泊80元。押金120元。

エレベーターが故障中で5階まで歩く。

ついてない時はほんとについてない。

もう疲れてバタンキュー！

上海外大

20091221

9時、安心した。周少姐はころよく1000元を受け取った。ところがあとのお客二人の相手ばかりしてなかなか商品が出てこない？

しばらくして少姑娘が手に重そうな紙包みを持って現れた。それから袋詰めが始まった。30分、おしゃべりしながら120本つつ小袋に詰めていく。

事前にはがきはちゃんと届いていたのに、いつも大体この調子だ。日本では考えられない。

ずしりと重い鎖を背負って上海への高速に乗った。上海に入って事故渋滞。2時間おくれた。

魯迅公園から上海外大の構内に入る。もう日が暮れて暗くなってしまった。

学生に聞くと幸い丁寧に日本語学科を教えてくれた。日本語学科の学生が間に入ってくれて6Fの教務課まで連れて行ってくれた。

2教官はもう帰った後だということだったので、主任に新聞を手渡した。

「謝先生と顧先生がここに載っています。」

私は毎年来ますのでよろしくお伝えください」

周総理との会見30周年記念の写真に主任はとても驚いていた。

さあ今回の使命は果たした。ユースでゆっくり休もう。

20キロを背負って宝山路から歩く。30分で
易途ハイカーユース。なぜか解体中！

さらに30分南京路を歩いて明堂へ。まさか？

ここも満室！最後の望みで白蘭路へ。

油断大敵！！！！やっと泊まれた。来年も来るぞ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n02111/>

上海コネクション2009

2010年10月10日12時35分発行